

Concert
光 Society

Harp
Naoko Yoshino



煌めき広がる響きのオーロラ、
円熟のグラランドハープロの宵

2023.6・14(水) 18:30開演 (18:00開場)

日本外国特派員協会 (丸の内二重橋ビルディング5階)

【チケット料金】

要予約 会員の方：13,000円

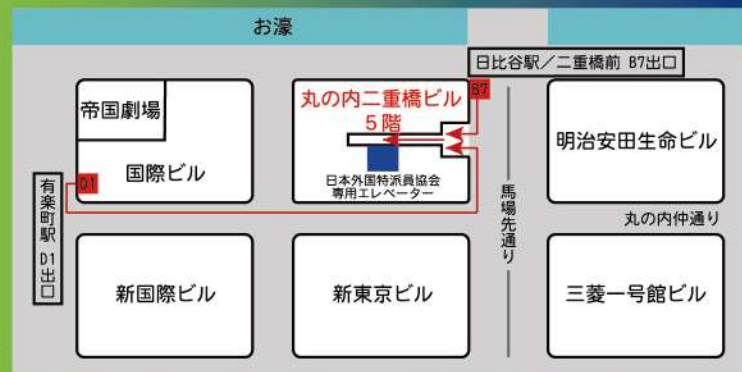
(ゲストの方：15,000円)

【お問い合わせ】

Fax：0467-24-3837

e-mail：concert.ko.society@gmail.com

【主催】コンサート光ソサエティー (代表 武田健二)



地上：東京駅と有楽町駅の間で、有楽町駅寄り。馬場先通りに面した入り口から専用エレベーターで5階へ
地下：JR東京駅南口地下道を京葉線/国際フォーラム方向で、出口6で新東京ビル地下に。地下で連絡専用エレベーター有り。
：地下鉄千代田線二重橋駅、三田線/有楽町線/(日比谷線)の日比谷駅B5出口から直接地下1階へ、連絡専用エレベーター有り。

第1部 コンサート

J.S. バッハ (グランジャーニ編)
Johann Sebastian Bach (arr. by M. Grandjany)

アンダンテ ～無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 BWV1003より～
Andante, from "Sonata for Solo Violin No. 2, BWV1003"
フーガ ～無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第1番 BWV1001より～
Fugue, from "Sonata for Solo Violin No. 1, BWV1001"

G. フォーレ
Gabriel Fauré

塔の中の王妃 作品110
Une châtelaine en sa tour Op.110

吉松 隆
Takashi Yoshimatsu

ライラ小景
Lyra Scenes
プロローグ Prologue
ダンス Dance
モノローグ Monologue
ワルツ Waltz
エピローグ Epilogue

C. サルツェード
Carlos Salzedo

夜のうた
Song in the Night

C. ドビュッシー (ルニエ編)
Claude Debussy (arr. by H. Renié)

アラベスク第1番
Arabesque No. 1

H. ルニエ
Henriette Renié

ピエス・サンフォニック [交響的小品]
Pièce symphonique en trois épisodes

第2部 着席ディナー

※演奏曲目が変更になる場合がございます。

Profile

ハープ | 吉野 直子
Naoko Yoshino



© Akira Muto

ロンドンに生まれ、6歳よりロサンゼルスにて、スーザン・マクドナルド女史のもとでハープを学び始めた。1981年に第1回ローマ国際ハープ・コンクール第2位入賞。1985年には第9回イスラエル国際ハープ・コンクールに参加者中最年少の17歳で優勝した。

これまでに、ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、チューリヒ・トーンハレ管、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、フィルハーモニア管、フィラデルフィア管、ウィーン・コンツェントゥス・ムジクスなどのオーケストラや、アーノンクール、メータ、ブーレーズ、プロムシュテット、メニューイン、フリーベック・デ・ブルゴス、小澤征爾など、国内外の著名オーケストラや指揮者と共演を重ねている。リサイタルもニューヨーク、ウィーン、ロンドン、東京など世界の主要都市で数多く行っている。また、ザルツブルク、ルツェルン、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、マールボロ、セイジ・オザワ松本フェスティバルなど、世界の主要音楽祭にも度々招かれ、常に好評を博している。室内楽の交流も幅広く、ヴァイオリンのクレメル、ヴィオラのV. ハーゲン、今井信子、チェロのC. ハーゲン、フルートのニコレ、ランバル、シュルツ、バユ、ホルンのバボラークなどと共演を重ねてきた。また、ハープの新作にも意欲的に取り組み、武満徹「そして、それが風であることを知った」、細川俊夫「ハープ協奏曲」、高橋悠治「Insomnia」、マヤーニ「ソナタ第2番」など初演した作品は数多い。

レコーディング活動も活発で、これまでにテルデック、フィリップス、ソニー・クラシカル、ヴァージン・クラシックスなどからCDを発表している。2015年には、フランスのアパルテ (Aparté) からオーヴェルニュ室内管と共演した「ハープ協奏曲集」を発表した。また、自主レーベルのグラツィオーソ (grazioso) を創設して、2016年から毎年切り口を変えた「ハープ・リサイタル」シリーズをリリースし、いずれも非常に高い評価を受けている。最新盤は「ハープ・リサイタル7～Intermezzo」。

1985年アリオン賞、1987年村松賞、1988年芸術祭賞、1989年モービル音楽賞奨励賞、1991年文化庁芸術選奨文部大臣新人賞、エイボン女性芸術賞、2021年度毎日芸術賞特別賞をそれぞれ受賞している。国際基督教大学卒業。